

親子聖書日課

NO.1850 2024.3/10-16

名前

[日]研究するだけの学者は沢山います。イエスの時代の律法学者もそうでした。しかし、学者エズラは違います。「研究して実行した」のです。だから大事業を全うできました。御言葉を学ぶだけでは不十分です。御言葉を行う人になりましょう。

[月]神殿を再建しても、働き人であるレビ人がいなければどうにもなりません。そこでエズラはレビ人を募り、多くのレビ人が応えました。会堂が建っても、働き人がいなければ、教会は成長しません。レビ人の一人になり、又、レビ人を求めましょう。

[火]民の雑婚の知らせに、エズラは悔い改めの祈りを捧げました。エズラは「わが神」と呼びかけ、「私達の罪」と告白しました。民の罪を自らの罪と受け止めます。真の執り成し手は、罪を責めるのではなく、自らが罪深い者として悔い改めます。

[水]罪を犯した時、後悔する人は多いですが、主の御前で罪を告白し、み旨に従う人は少ないです。しかし、告白する人にだけ、罪が赦され、罪に打ち勝てるのです。主は私達が罪を告白することを待っておられます。「断固として行動」しましょう。

[木]同胞が罪のために苦しんでいることを聞いた時、ネヘミヤは王の献酌官(飲み物の毒味役)としての安楽な生活に甘んじることなく、断食して祈りました。私達は、日本人の救いのために、涙して祈っているでしょうか。祈りこそ、私達の本業です。



[金]ネヘミヤはエルサレムに着くと、誰にも相談せず、事情を調査しました。しかし、勝手に行動したわけではありません。「神が私の心に示されたこと」に沿って行動しました。聖書日課に励み、神の御心に聴き従うなら、その歩みは間違いありません。

[土]最初に再建に着手したのは「羊の門」でした。この門は、礼拝に捧げる羊を引き入れる門です。礼拝を献げることを第一の使命にしたのです。私達の信仰生活も礼拝を献げることから再建しましょう。全ての必要は満たされ、祝福されます。

	聖書	問題	名前 答え
日	エズラ記 7:1-28	エズラは主の律法を研究してどうしましたか。	
月	8:1-36	私たちの神を尋ね求める者には、何が差し伸べられますか。	
火	9:1-15	先祖の時代から今日まで、私たちは何の中にありますか。	
水	10:1-44	今、先祖の神なる主の前で罪をどうしたらよいですか。	
木	ネヘミヤ記 1:1-11	ネヘミヤは食を断ち、天にいます神に何をささげましたか。	
金	2:1-20	ネヘミヤは王に町をどうしたいと答えましたか。	
土	3:1-15	大祭司は仲間の祭司と共に何の建築に取りかかりましたか。	
			感想と祈りの課題